
年間学習指導計画作成資料

株式会社 教育芸術社

【本資料について】

- ・本資料は、教育芸術社発行の平成 27 年度用小学校音楽教科書「小学生の音楽 1～6 〈132～632〉」に基づいて作成されています。(用紙サイズは、B4 ヨコ向きで、縮小率 86% で作成されています。)

【指導する月の目安について】

- ・本資料で示されている扱いは目安となります。各校の実態に応じて、指導される月や学期を調整のうえ、ご活用ください。

【扱い時数の目安について】

- ・教育課程で標準とされる授業時数に即し、各題材や「みんなで楽しく」などの巻末教材も含めたかたちで、扱い時数を設定しています。
- ・巻末教材に配当された時数については、巻末教材を本文中の題材と関連づけて取り上げる場合や、授業時数に調整の必要が生じた場合などにおいて、扱い時数を調整するためにご活用ください。
- ・国歌「君が代」につきましては、『国歌「君が代」は、いずれの学年においても歌えるよう指導すること。』と示された学習指導要領の趣旨にしたがい、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。

第1学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連																		
扱い 月	扱い時数 合計68	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞			【共通事項】									
						歌唱				器楽				音楽づくり			鑑賞		ア	イ		
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ				
4	6	1. うたで なかよしに なろう	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする 楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関 心をもつ。	・みんなで いっしょに うたって、ともだちを つくりましょう。	うたで さんぼ	●	●												速度 強弱 拍の流れ 問いと答え			
				・ともだちと いっしょに なかよく うたいましょう。	ぞうさんの さんぼ	○	●															
				*みんなで あそびながら たのしく うたいましょう。	てと てで あいさつ	○	●															
5	5	2. はくを かんじて あそぼう	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり 聴いたりして、拍の流れを感じ取る。	・おんがくに あわせて からだを うごかしましょう。	♪さんぼ											●	○	○	リズム 拍の流れ フレーズ 問いと答え			
				・はくを かんじながら なまえあそびを しましょう。	なまえあそび	○								●								
				*はくに のって、 からだを うごかしながら うたいましょう。	◎かたつむり	●	●	○	○													
6	12	3. はくを かんじて リズムを うとう	●歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れ を感じ取る。 ●リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取っ て簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う 言葉を選び組み合わせで表現したりする。	・[たん たん たん・]の リズムを うちましょう。	じゃんけんぼん	○	○			●		●	○						音色 リズム 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え			
				・[たん たん たん たん たん たん たん・]の リズムを うちましょう。	みんなで あそぼう	○		○		●		○	●									
				・[たん・ たん・ たん たん たん・]の リズムを うちましょう。	♪しろくまの ジェンカ	●	○			●		●	○			●	●	○				
7	12	3. はくを かんじて リズムを うとう	●歌ったり体を動かしたりしながら、拍の流れ を感じ取る。 ●リズムの違いに気付き、拍の流れを感じ取っ て簡単なリズムを演奏したり、リズムに合う 言葉を選び組み合わせで表現したりする。	・[たん たん たん・ たた たた たん・]の リズムを うちましょう。	ぶん ぶん ぶん	○	○			●		●	●						音色 リズム 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え			
				・ことばを つかって おんがくを つくりましょう。	☆ことばで リズム									●	●							
				*うたに あわせて、 からだを うごかしながら うたいましょう。	◎うみ	○	●	●	○													
9	10	4. どれみで うたったり ふいたり しよう	●階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びを したりして、階名に親しむ。 ●鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身 に付けたり、きれいな音に気付いて聴いたり する。	・けんばんハーモニカを ふきましょう。	♪みつばちの ぼうけん											○	●	○	音色 旋律 拍の流れ 問いと答え			
				・どと その いちを おぼえましょう。	たのしく ふこう	○					●	●	○									
				・どれみの いちを おぼえて ふきましょう。	どんぐりさんの おうち	●				●		●	○									
10	10	4. どれみで うたったり ふいたり しよう	●階名で模唱や暗唱をしたり、まねっこ遊びを したりして、階名に親しむ。 ●鍵盤ハーモニカの基本的な演奏の仕方を身 に付けたり、きれいな音に気付いて聴いたり する。	・どれみふあその いちを おぼえて ふきましょう。	どれみの あいさつ	●				●		●							音色 旋律 拍の流れ 問いと答え			
				・どれみふあその いちを おぼえて ふきましょう。	なかよし	●			○	●		●	○									
				・おとの たかさを たしかめながら どれみで うたいましょう。	どれみふあその まねっこ					●		○										
11	6	5. ようすを おもいかべよう	●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴 いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の 気分にあった表現を工夫して歌う。	・こねこたちが おどっている ようすを おもいかべながら ききましょう。	♪おどる こねこ											●	○	●	音色、速度 旋律、強弱 拍の流れ 反復			
				*はくに のって、 のびのびと うたいましょう。	◎ひのまる	○	●	●	○													
				・かしを たいせつに して うたいましょう。	はる なつ あき ふゆ	○	●	●	○													
12	9	6. いろいろな おとを たのしもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取り、演奏の 仕方や楽器の音色に興味・関心をもって演奏 したり音楽をつくったりする。 ●楽器の特徴的な音色を感じ取り、楽曲のよさ や面白さに気付いて聴く。	・みみを すまして いろいろな おとを ききましょう。	♪シンコペーテッド クロック											●	●	●	音色 リズム 強弱 反復 問いと答え			
				・ほしぞらの ようすに あう おとで えんそうしましょう。	きらきらぼし	●	●	○	○	●	●	●	○									
				・いろいろな おとを みつけて ならしましょう。	おとさがし							●	●		○							
1	2	7. にほんの うたを たのしもう	●友達と一緒に歌ったり音楽に合わせて体を 動かしたりして、日本に伝わるわらべうたの 楽しさを感じ取る。	・わらべうたを きいたり うたったり しましょう。	♪さんちゃんがおおなみ こなみ	●										●		○	速度 旋律 拍の流れ			
				・わらべうたを うたって たのしみましょう。	おちゃらか ほうい	○			●													
				・たがいの こえを ききあいながら うたいましょう。	やまびこ ごっこ	●	●	●	●													
2	12	8. おとを あわせて たのしもう	●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ち を合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いに気付き、拍の流れやフレー ズを感じ取りながら楽しんで聴く。	・うたごえと がっきの おとを あわせて えんそうしましょう。	☆やまびこあそび											●			音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え			
				・たがいの がっきの おとを ききながら えんそうしましょう。	とんくるりん ばんくるりん	●	○	○	○	●	○	●	●									
				・おんがくを たのしみながら ききましょう。	こいぬの マーチ	●	○	○	○	●	●	●	●									
3	12	8. おとを あわせて たのしもう	●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持ち を合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いに気付き、拍の流れやフレー ズを感じ取りながら楽しんで聴く。	・おんがくを たのしみながら ききましょう。	♪ラデツキー こうしんきょく											●	●	●	音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え			
年間	6	巻末	うたいつごう にほんの うた	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	たなばたさま／おしょうがつ／ うれしい ひなまつり	●	●	○	○										全般			
				各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	[うたで さんぼ] おつかい ありさん／ちゅうりっぷ／ ちょうちょう／ぞうさん／めだかの がっこう／こたりの うた／こぶたぬ きつねこ／こいのぼり／いぬの おま わりさん あいあい おちゃらか ほうい どれみで のぼろう	○	●	○	●													
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						〔国歌〕 きみがよ	●	●	●	●												

●…主となる内容 ○…関連する内容

第2学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連																		
扱い月	扱い時数 合計70	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞				〔共通事項〕								
						歌唱				器楽				鑑賞		ア	イ					
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ					
4	5	1. うたで ともだちの わをひろげよう	●友達と一緒に歌ったり体を動かしたりする 楽しさを感じ取りながら、音楽への興味・関 心をもつ。	・みんなで いっしょに うたって、気もちよく あいさつを しましょう。 ・あそびうたを きいたり うたったり しましょう。 *かくれんぼで 楽しく あそんで いる ようすを おもいうかべながら う たいましょう。	メッセージ ♪ロンドンばし/小犬の ピンゴ ◎かくれんぼ	○	●		○									リズム 強弱 拍の流れ 問いと答え				
5	10	2. はくの まとまりを かんじとろう	●音楽に合わせて体を動かしながら歌ったり 聴いたりして、拍のまとまりや拍子の違いを 感じ取る。	・2びょうしを かんじながら うたいましょう。 ・2びょうしを かんじながら ききましょう。 ・3びょうしを かんじながら うたいましょう。 ・3びょうしを かんじながら、えんそうしたり きいたり しましょう。	はしの上で ♪トルコ こうしんきょく たぬきの たいこ かっこう ♪メヌエット	○	●	○	○								●	●	●	音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ		
7	8	3. 音の たかさの ちがいを かんじとろう	●音の高さの違いに気付き、声の出し方や発音 を工夫して即興的な音遊びをしたり、楽器で 旋律遊びをしたりする。 ●音の高さに気を付けながら、階名で模唱や暗 唱をしたり、鍵盤楽器で演奏したりする。	・いろいろな こえで、かえるの なきごえや ようすを あらわしましょう。 ・うたったり ひいたり しながら、音の たかさを おぼえましょう。 ・音の たかさに 気をつけながら、きいたり うたったり しましょう。 ・音の たかさを たしかめながら、うたったり ひいたり しましょう。	☆かえるの 音あそび かえるの がっしょう ♪ドレミの うた ドレミの まねっこ ドレミで あそぼ ☆せんりつあそび									●	○					音色 リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え		
9	9	4. ひょうしを かんじて リズムを うとう	●拍子を感じ取りながら、リズム伴奏にのって 歌ったり演奏したりする。 ●リズム譜に親しみ、簡単なリズムを演奏した り、反復を生かしたリズムをつくったりす る。	・2びょうしを かんじながら、 のリズムを うちましょう。 ・3びょうしを かんじながら、 のリズムを うちましょう。 ・2びょうしを かんじながら、 と のリズムを うちましょう。 ・くりかえしを つかって 音楽をつくりましょう。	この空とぼう いるかは ざんぶらこ 山の ポルカ ☆おまつりの 音楽	○	○		○	●	○	●	●							リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復	4分音符 4分音符 8分音符 8分音符	
11	8	5. いろいろな 音を 楽しもう	●身近な楽器の音色の特徴を感じ取りながら 音楽を聴いたり、音色の組合せを工夫しなが ら表現したりする。 ●楽器の音色の違いを感じ取り、演奏の仕方 を工夫して選んだリズムで問いと答えを生か しながら音楽をつくる。	・いろいろな 音の中から すきな 音を さがしましょう。 ・がっきの 音の くみあわせを 楽しみましょう。 ・いろいろな 音を かさねて 楽しみましょう。 *いろいろな 虫たちが ないて いる ようすを おもいうかべながら うた いましょう。	♪だがかき パーティー ☆がっきで おはなし かぼちゃ ◎虫の こえ												●	●	○	音色 リズム 旋律 強弱 拍の流れ 問いと答え	2分音符	
12	9	6. ようすを おもいうかべよう	●楽曲の気分を感じ取りながら、想像豊かに聴 いたり思いをもって表現したりする。 ●歌詞の表す様子や気持ちを想像して、楽曲の 気分合った表現を工夫して歌う。	・人形の ようすを おもいうかべながら ききましょう。 *きれいな タヤケの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。 ・かしを たいせつに して うたいましょう。 ・小ぎつねの ようすを おもいうかべながら うたいましょう。	♪人形の ゆめと 目ざめ ◎タヤケこやけ 海と おひさま 小ぎつね					○	●	●	○					●	●	●	音色 速度 旋律 強弱 拍の流れ フレーズ 反復	
1	3	7. 日本の うたを 楽しもう	●日本に伝わるわらべうたの楽しさやよさを 感じ取りながら、聴いたり歌ったりする。 ●わらべうたの特徴を感じ取り、音を選んで伴 奏の旋律をつくる。	・わらべうたを きいたり うたったり しましょう。 ・わらべうたに あう ばんそうをつくって 楽しみましょう。	♪ずいずい ずっころばし/あんたがた どこさ なべ なべ そこ ぬけ ☆ばんそうあそび	●											●		○	リズム 旋律 拍の流れ 反復		
2	3	8. 音を あわせて 楽しもう	●互いの歌声や楽器の音を聴きながら、気持 ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ●楽器の響き合いや旋律の特徴に気付き、い ろいろな音を合わせる楽しさを感じ取りなが ら聴く。	・いろいろな がっきの 音を 楽しみながら ききましょう。 ・たがいの こえを ききあいながら うたいましょう。 ・うたごとと がっきの 音を ききあいながら えんそうしましょう。 ・うたごとと がっきの 音を あわせて えんそうしましょう。 *あかるい こえで のびのびと うたいましょう。	♪こうしんきょく どこかで ぶっかり くじら こぐまの 二月 ◎はるが きた	○	●	●	●									●	●	●	音色 リズム 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え	
年間	5	巻末	うたいつごう 日本の うた	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夕日/とんぼの めがね/シャボン玉	○	●	●	○											全般		
			みんなで 楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	手のひらを たいように あの 青い 空のように/はるの まきば あえて よかった アイアイ	○	●	●	●												○	
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						〔国歌〕 きみがよ	●	●	●	●												

●…主となる内容 ○…関連する内容

第3学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連																
扱い月	扱い時数 合計 60	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞			〔共通事項〕							
						歌唱	器楽	音楽づくり	鑑賞	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア	イ			
年間	2	巻頭	音楽リズム 心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	リコーダーのなかま／♪ナイチンゲール 友だち	○	●	○	○					○	○	○	音色			
4	8	1. 明るい歌声をひびかせよう	●ハ長調の楽譜に親しみ、音程に気を付けて階名で視唱したり、視奏したりして、読譜に慣れる。 ●自然で無理のない歌い方に親しみ、友達と一緒に歌う楽しさを味わう。	・音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。	ドレミで歌おう	●	○		●								音色 旋律 強弱 音階 拍の流れ フレーズ	ト音記号 五線と加線 縦線 終止線 プレス		
5				*音の高さに気をつけて、明るい声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。	◎春の小川	●	●	●	○											
6				・楽器といっしょに明るい声で歌いましょう。	海風きって ☆せんりつづくり	●	○	○	●	●	○	○	●			○			○	
7	9	2. リコーダーとなかよしになろう	●リコーダーに親しみながら、その音色を感じ取ったり、基本的な演奏の仕方を身に付けたりする。	・リコーダーに親しみましょう。	♪小鳥のために				●					○	○		音色 旋律 音の重なり 拍の流れ	付点2分音符 4分の4拍子 付点4分音符		
7				・きれいな音でふきましょう。	ステップ1・2・3／小さな花 とどけよう このゆめを	○	○	○	●	●	○	●	●			●			○	○
9				・歌に合わせてリコーダーをふきましょう。	♪きらきら星 坂道／雨上がり／かり かり わたれ そよ風					●	○	●	●							
9	6	3. 拍のながれにのってリズムをかんじとろう	●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって表現する。 ●反復や変化などの音楽の仕組みを生かして、まとまりのあるリズムをつくる。	・曲のかんじを生かしてえんそうしましょう。	ゆかいな木きん	●	○	○	●	●	●	●	●				音色 リズム 旋律 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化	4分の2拍子		
10				・くりかえしや変化を使って、まとまりのあるリズムをつくりましょう。	☆手拍子でリズム									○	●					
11				*日本に古くからつたわの歌のふんいきをかんじとりながら歌いましょう。	◎うさぎ	○	●	●	○											
10	9	4. せんりつのとくちょうをかんじとろう	●旋律の特徴を感じ取りながら、曲想とその変化を感じ取って聴いたり、楽曲を聴いて感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付いたりする。 ●旋律の特徴を生かして、曲想にふさわしい表現を工夫しながら、思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。	・せんりつ音の音の上がり下がりにつけてえんそうしましょう。	あの雲のように	○	●	●	●	●	●	○	●				音色 リズム 旋律 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 変化	4分の3拍子 タイ		
11				・せんりつ音の上がり下がりやリズムに気をつけてききましょう。	♪メヌエット 山のボルカ					●	●	●	●							
12				*曲の中で気持ちがいちばんもり上がるころを曲の山といいます。せんりつ音の上がり下がりから曲の山をかんじとって、のびのびと歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎ふじ山	●	●	●	○											
12	9	5. いろいろな音のひびきをかかんじとろう	●楽器の音の特徴や音色の違いを生かして、イメージに合う音を即興的に表現したり、反復などの音楽の仕組みを生かしてまとまりのある音楽をつくりましょう。 ●楽器の音の特徴や音色の違いを感じ取りながら、互いの楽器の音を聴いて音を合わせて演奏したり、楽曲の構造に気を付けて聴いたりする。	・「まほうの音楽」を入れて歌いましょう。	おかしなすきな まほう使い	○	●	○								音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ 反復 問いと答え 変化				
1				・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。	☆まほうの音楽									●	●					
2				・重なり合う楽器の音のひびきをかかんじとりながらえんそうしましょう。	パフ	○	○	○	○	●	○	●	●							●
1	4	6. 日本の音楽に親しもう	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、お囃子の音楽を聴いたり旋律をつくったりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。	・日本の楽器の音に親しみましょう。	♪神田囃子／花輪ばやし／小倉祇園太鼓											●	○	●	音色 リズム 速度 旋律 拍の流れ フレーズ 反復 変化	
2				・3つの音で、おはやしのせんりつをつくりましょう。	☆ラドレの音でせんりつづくり											○		●		
3				●旋律や音が重なり合う面白さに関心をもち、互いの歌声や楽器の音を聴いて、声や音を合わせて演奏する。 ●旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。	歌おう 声高く ♪かね	○	○	○	●								○	●		
2	7	7. 音を合わせて楽しもう	●旋律の重なりや強弱の変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。	・合奏のゆたかなひびきを楽しみましょう。	エーデルワイス					●	●	●	●							
3																				
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	どこかで春が／ゆりかごの歌／七つの子	●	●	●	○								全般			
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	ちびっこカウボーイ 帰り道 ゴー ゴー ゴー きょうりゅうとチャチャチャ こころパレット 春はワクワク また あそぼ よるこびの歌 ミッキーマウス マーチ	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○				
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					〔国歌〕君が代	●	●	●	●											

●…主となる内容 ○…関連する内容

第4学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連																						
扱い 月	扱い 時数 合計 60	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A 表現				B 鑑賞			〔共通事項〕													
						歌唱				器楽				音楽 づくり		鑑賞			ア	イ						
年間	2	巻頭	音楽プリズム 心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	自然と音 子どもの世界	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ						
4	7	1. 明るい歌声をひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて階名で視唱したり、視奏したりしてハ長調の楽譜の読譜に慣れたり、呼吸や発音の仕方に気を付けて自然で無理のない歌い方で歌ったりする。 ●歌声の掛け合いや重なり方に気を付けて聴き、想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	・音の高さに気を付けて、明るい声で歌いましょう。	いいこと ありそう	●	○	●	○	○											音色、リズム 旋律 音の重なり 音階、調 フレーズ 問いと答え	付点8分音符 16分音符				
5				・2人の歌声による音楽のおもしろさを感じ取りながらききましょう。	♪ババゲーノとババゲーナの二重唱																					
6				・リコーダーと合わせて、明るい声で歌いましょう。	歌のにじ ☆せんりつづくり																					
7	8	2. 拍の流れにのってリズムを感じ取ろう	●拍子やリズムの特徴を感じ取りながら、拍の流れにのって表現する。 ●リズムの組合せを工夫したり、反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組みを生かしたりして言葉のリズムアンサンブルをつくる。	・拍の流れにのって、歌と打楽器を合わせてえんそうしましょう。	いろいろな木の実 ♪ブラジル ☆言葉でリズムアンサンブル	○	○	○	●	○	○	●	●								音色、リズム 旋律、強弱 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化	リピート記号 8分の6拍子 p mp mf < >				
9				・くり返しや変化を使って、リズムアンサンブルをつくりましょう。 *歌詞から情景を思いうかべて、のびやかな声で歌いましょう。 *歌詞から情景を思いうかべて、のびやかな声で歌いましょう。 階名でも歌ってみましょう。	◎まきばの朝	●	●	●	○																	
10				・6拍子を感じながら歌いましょう。	風のメロディー	●	●	○	○																	
9	8	3. せんりつのとくちょうを感じ取ろう	●旋律の特徴にふさわしい歌い方や演奏の仕方を身に付け、曲想にふさわしい表現を工夫しながら思いや意図をもって歌ったり演奏したりする。 ●旋律の特徴や曲想を感じ取りながら音楽を聴き、感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。	・せんりつのとくちょうにふさわしいふき方でえんそうしましょう。	陽気な船長／せいじやの行進					●	●	●	○								音色、速度 旋律、強弱 音の重なり フレーズ 反復 問いと答え	スタッカート 1番かっこ 2番かっこ f				
10				・せんりつのとくちょうを生かして歌いましょう。 *せんりつの上がり下がりを感じ取って、強さをくふうしながら歌いましょう。階名でも歌ってみましょう。	◎とんび	●	●	●	○																	
11				・せんりつのとくちょうを感じ取りながらききましょう。	♪白鳥 ♪美しきロスマリ																					
11	7	4. せんりつのもじりを感じ取ろう	●旋律が重なり合う響きを感じ取りながら、旋律の特徴を生かした歌い方や演奏の仕方を工夫したり、互いの歌声を聴いて声を合わせて歌ったりする。 ●旋律の特徴、旋律の反復や重なりによる曲想とその変化を感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く。	・せんりつが重なり合うおもしろさを感じ取りましょう。	パレード ホッポー ♪ファランドール	○	○	○	●												音色、旋律 音の重なり フレーズ 反復 変化					
12				・サミングをおぼえてリコーダーをふきましょう。 *声が重なり合う美しさを感じて歌いましょう。	雨の公園／ハッピー パースデイ トゥ ユー ◎もみじ	○				●		●	●													
12				・フルートとクラリネットのひびきに親しみましょう。 ・音の組み合わせを考えて、歌と合わせてえんそうしましょう。 ・音のとくちょうを生かして音楽をつくりましょう。 ・ゆたかなひびきを味わいながらえんそうしましょう。	♪メヌエット／クラリネット ポルカ 音のカーニバル ☆打楽器の音楽 茶色の小びん																					
1	7	6. 日本の音楽に親しもう	●日本の音楽の雰囲気や特徴を感じ取りながら、民謡を聴いたり表現したりして、我が国や郷土に伝わる音楽に親しむ。 ●日本の旋律の特徴を感じ取り、音を音楽に構成する過程を大切にしながらまとまりのある旋律をつくる。	・音楽のとくちょうを感じ取りながら、日本の民謡をききましょう。	♪ソーラン節／南部牛追い歌 ♪トラジ打令／小さな淡黄色の馬																音色、リズム 速度、旋律 音の重なり 音階 拍の流れ フレーズ 反復、変化					
2				・日本の音楽のふんいきを感じ取ってえんそうしましょう。 ・5つの音で、おはよしのせんりつをつくりましょう。 *日本語の美しさや日本のせんりつを感じ生かして歌いましょう。	こきりこ ☆ミソラドレの音でせんりつづくり ◎さくら さくら ♪さくら さくら	○	●	●	○	○	●	○	○													
3				・曲の気分を感じ取ってえんそうしましょう。 ・音楽が表している様子を思いうかべながらききましょう。	赤いやねの家 オーラ リー ♪山の魔王の宮殿にて ♪つるぎのまい	○	●	●	○			●	●	●	●											
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	みかんの花さくおか／せいくらべ／みどりのそよ風	●	●	●	○												全般					
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	友達 シンド バッド 冬の歌 いつだって！ 林の朝 チャレンジ！ クラッピング ファンタジー 第7番(楽しいマーチ) チキ チキ パン パン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○		
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					〔国歌〕君が代	●	●	●	●																	

●…主となる内容 ○…関連する内容

第5学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連														
扱い 月	扱い 合計 50	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞				〔共通事項〕				
						歌唱				器楽				音楽づくり		鑑賞		ア
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	
年間	2	巻頭	音楽プリズム		音の力													
			心をつなぐ歌声	年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりするための歌唱教材。	Believe	○	●	●	●									
4	3	1. ゆたかな歌声を ひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて視唱したり、曲想を生かしながら自然で無理のない歌い方で歌ったりする。	・曲の感じを生かして、明るい声で歌いましょう。	すてきな一歩	●	●	●	●							音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり フレーズ 変化		
				*曲の感じを生かして、明るくひびきのある声で歌いましょう。	◎こいのぼり	○	●	●										
5	6	2. いろいろな 音のひびきを 味わおう	●楽器の音の特徴や音色の違い、旋律と旋律、旋律と伴奏が重なり合う響きを味わって聴いたり、演奏したりする。 ●楽器の音色や音が組み合わさる響き、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくり演奏したりする。	・リコーダーの音が重なり合うひびきを感じながら演奏しましょう。	小さな約束					●	●	●	●			音色 リズム 旋律 強弱 音の重なり 音階 調 拍の流れ フレーズ 反復	アクセント へ音記号	
				・歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	いつでもあの海は	○	●	●	●									
6	7	3. 和音の美しさを 味わおう	●I、IV、Vなどの和音の違いを感じ取って演奏したり、和音の響きの変化を感じ取って歌ったりする。	・和音の移り変わりを感知しながら演奏しましょう。	静かにねむれ	●	○	○	○	●	○	○	●			旋律 音の重なり 和声の響き	全音符	
				・和音の移り変わりを感知しながら合唱しましょう。	こげよ マイケル (Michael, row the boat ashore)	●	○	●	●	○		○						
10	7	4. 曲想を味わおう	●言葉の感じや曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。	・曲想の移り変わりを感知取りながらききましょう。	♪威風堂々 第1番					○	○	○	○	●	●	●	音色、リズム 速度、旋律 強弱 音の重なり 和声の響き 拍の流れ フレーズ 反復、変化 問いと答え 音楽の縦と横の関係	フラット ナチュラル
				・言葉の感じや曲想を生かして歌いましょう。	まっかな秋	○	●	●	○									
11	7	4. 曲想を味わおう	●言葉の感じや曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって演奏する。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、楽曲の構造に気を付けて聴く。	・曲想を生かして合奏しましょう。	キリマンジャロ					●	●	●	●					
12	4	5. 詩と音楽を 味わおう	●言葉の感じと旋律とが一体となって生み出す日本歌曲の美しさを味わいながら聴いたり、歌ったりする。	・日本語の言葉の感じを生かした歌曲を楽しみましょう。	♪山田耕筰の歌曲（待ちぼうけ／赤とんぼ／この道）	○								●	●	●	音色 リズム 速度、旋律 強弱 フレーズ 反復、変化	
				*歌詞の表す情景を思いうかべながら、強弱記号に気をつけて歌いましょう。	◎冬げしき	○	●	●	●									
1	5	6. 日本と世界の 音楽に親しもう	●日本や世界の国々の音楽のよさや、声や楽器の響きの美しさを味わい、それらの特徴を感じ取って聴く。 ●日本の旋律のもつ特徴や美しさを感じ取りながら歌ったり、音楽の仕組みを生かしながら見通しをもって日本の音階の音で旋律をつくりたい。	・和楽器のひびきと旋律の美しさを味わいながらききましょう。	♪春の海									●	●	●	音色 リズム 旋律 音階 拍の流れ 反復 問いと答え 変化	
				*日本の旋律の美しさを味わいながら歌いましょう。	◎子もり歌	●	●	○	○									
2	8	7. 心をこめて 表現しよう	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	・曲想を生かして表情ゆたかに演奏しましょう。	小さな鳥の 小さな夢	○	●	●	○							音色、旋律 強弱 音の重なり 調 拍の流れ フレーズ 変化 音楽の縦と横の関係	スラー	
				・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	失われた歌					●	●	●	●					
3	8	7. 心をこめて 表現しよう	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。		大空がむかえる朝／ほたるの光	○	●	●	●									
年間	6	巻末	みんなで楽しく	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	海／ちいさい秋みつけた	○	●	●	○							全般	
					各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	ありがとうの花 南風について 世界がひとつになるまで つばさをだいて A good day アヒラン／まつり花 クラッピング ファンタジー 第4番（ギャラクシー～銀河をこえて～） 生命のいびき ことに親しもう（さくら さくら）	○	●	●	○	●	●	●	●				
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。						〔国歌〕君が代	●	●	●	●								

●…主となる内容 ○…関連する内容

第6学年 年間学習指導計画作成資料				学習指導要領の内容との関連																	
扱い月	扱い時数 合計 50	題材名	題材のねらい	学習目標	教材名	A表現				B鑑賞				【共通事項】							
						歌唱				器楽				音楽づくり		鑑賞		ア	イ		
						ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ア	イ	ウ	ア	イ	
年間	1	巻頭	音楽リズム 心をつなぐ歌声		人をつなぐ音楽 つばさをください	○	●	●	○												
4	5	1. 豊かな歌声を ひびかせよう	●音程やリズムに気を付けて視唱したり、曲想にふさわしい歌い方を工夫して思いや意図をもって歌ったりする。	・明るくひびきのある声で歌いましょう。	明日という大空	●	●	●	○									音色、リズム 速度、旋律 強弱 音の重なり フレーズ 反復、変化	速度記号		
5				*曲のまとまりや強さの変化に気を付けて、曲想にふさわしい歌い方を工夫して歌いましょう。	◎おぼろ月夜	●	●	●	●												
6	8	2. いろいろな 音のひびきを 味わおう	●パートの役割や楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏したり、楽器の組合せから生まれる響きの美しさを味わって聴いたりする。 ●楽器の音色やリズム、音楽の仕組みを生かして、音楽をつくったり演奏したりする。	・パートの役割や楽器の特徴を生かして合奏しましょう。	ラバーズ コンチェルト					●	●	●	●					音色、リズム 速度、旋律 強弱 音の重なり 拍の流れ フレーズ 反復 問いと答え 変化 音楽の縦と横の 関係			
7				・オーケストラのひびきを味わいながらききましょう。	♪メヌエット											●	○				
7				*曲想を生かして歌いましょう。	♪木星											●	●			●	
9	8	3. 和音の美しさを 味わおう	●和音の響きの変化を感じ取りながら、各声部の歌声や楽器、全体の響き、伴奏を聴いて合唱したり合奏したりする。 ●和音に含まれる音を用いて、まとまりのある旋律をつくる。	・歌声が重なり合うひびきを感じながら合唱しましょう。	星の世界	●	○	●	●									音色、リズム 旋律 音の重なり 和声の響き 調 フレーズ 反復、変化 音楽の縦と横の 関係			
10				・和音の移り変わりをを感じながら演奏しましょう。	雨のうた					●	●	●	●								
11	6	4. 曲想を味わおう	●曲想にふさわしい表現を工夫し、旋律の特徴や重なり方を生かして歌ったり、パートの役割にふさわしい楽器や演奏の仕方でも演奏したりする。 ●曲想とその変化を感じ取りながら、旋律の特徴、反復や変化、強弱や速度などによる楽曲の構造を理解して聴く。	・旋律の音の上がり下がりや重なり方から、表現のしかたを考えて歌いましょう。	広い空の下で	○	●	●	●									音色 リズム 速度 旋律 強弱 音の重なり 反復 変化			
12	6	5. 詩と音楽を 味わおう	●歌詞と旋律とが一体となって生み出す曲想を味わいながら聴いたり、思いや意図をもって歌ったりする。	・曲想の移り変わりを味わいながらききましょう。	♪ハンガリー舞曲 第5番											●	●			●	
12				・曲想を生かして合奏しましょう。	風を切って	○				●	●	●	●								
1	4	6. 日本と世界の 音楽に親しもう	●日本に古くから伝わる歌と楽器の音色を味わって、聴いたり歌ったりする。 ●世界の国々の楽器の音色の特徴や、音楽の雰囲気の違いに気を付けて聴き、諸外国の音楽に親しむ。	*日本に古くから伝わる歌の特徴を感じ取って歌いましょう。	◎越天楽今様	●	●	●	○									音色、リズム 速度、旋律 音階 拍の流れ 反復、変化			
2	6	7. 心をこめて 表現しよう	●歌詞の内容や曲想にふさわしい表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声や音で演奏する。	・曲想を生かして表情豊かに演奏しましょう。	きっと届ける	○	●	●	●							●	○			●	
3				・歌詞の表す気持ちを大切に歌いましょう。	さよなら友よ／あおげばとうとし	●	●	●	●												
年間	6	巻末	歌いつごう 日本の歌	世代を超えて歌い継いでいきたい日本の歌。	夏は来ぬ／浜千鳥	●	●	●	○									全般			
			みんなで楽しく	各校の実態に応じて、弾力的に扱うことのできる教材。	気球にのってどこまでも Wish ～夢を信じて 旅立ちの日に あすという日が この星に生まれて 歌よ ありがとう メヌエット ALWAYS 三丁目の夕日 コンドルは飛んで行く	●	●	●	●	○	●	●	●	○	●	●	●				
※国歌「君が代」の指導については、各校の実態に応じて学習内容や扱い時数をご設定ください。					〔国歌〕君が代	●	●	●	●												

●…主となる内容 ○…関連する内容